



2019年5月15日

各位

会社名 ソースネクスト株式会社
代表者 代表取締役社長 松田 憲幸
(コード番号 4344 東証第一部)
問合せ先 管理 グループ
取締役常務執行役員 青山 文彦
電話番号 03 - 6254 - 5231

2019年3月期 通期業績予想と実績の差異に関するお知らせ

当社は、2018年5月15日に公表しました2019年3月期（2018年4月1日～2019年3月31日）の業績予想と本日公表した実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 2019年3月期連結業績予想と実績の差異（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	16,807	2,499	2,502	1,818	13.82
実績値 (B)	14,710	859	905	615	4.64
増減額 (B - A)	△2,097	△1,640	△1,597	△1,203	
増減率 (%)	△12.5	△65.6	△63.8	△66.2	
(参考)前期連結実績 (2018年3月期)	9,494	1,237	1,258	1,261	10.18

(注)当社は、2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行なっております。1株当たり当期純利益については、2018年3月期の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して算出しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、2018年9月に発表したAI通訳機「POCKETALK W」を中心に国内外での販売に注力しました。本製品の認知度拡大のため、電車・タクシー等の交通広告やTVCM、テレビショッピング等での露出を推進したことで、株式会社BCNの集計する「BCNランキング・データ」において、2019年4月の「音声翻訳機」カテゴリでシェア96.0%となり、圧倒的第1位を獲得いたしました。しかしながら、特に郊外の家電量販店での販売が当初想定よりも緩やかに進行したことや、キャリアのAndroidアプリ使い放題サービスの会員数が減少してきたことでコンテンツ提供事業者への収益分配原資が想定以上に減少したこと、パソコンソフトのハガキ市場が鈍化し売上が伸び悩んだこと等により、発表予想を下回ることになりました。

利益につきましては、「POCKETALK」ブランドを通訳機のデファクトスタンダードとするための先行投資として、電車・タクシー等の交通広告やTVCM、テレビショッピングを始めとする広告宣伝費の大幅増額や家電量販店等での展開強化のための販促費、自社システムの開発・改修に伴う業務委託費等、販売費及び一般管理費の伸びが、結果として売上の伸びを上回ったことにより営業利益、経常利益、当期純利益において発表予想を下回ることになりました。

以上